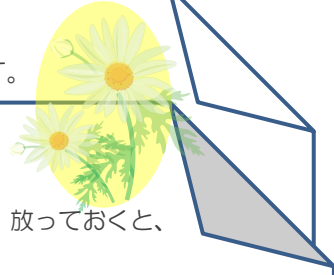




毎年11月頃から翌年の4月にかけて、ノロウイルスが流行します。  
今号では、感染した際のふん便や嘔吐物の処理の方法を中心にご案内いたします。



## 事前の準備が大切！

ノロウイルス感染症の場合、ふん便やおう吐物には、大量にノロウイルスが含まれており、放っておくと、そこからさらに感染が広がってしまいます。  
早く、確実に処理する為に、必要な物品をあらかじめ用意しておきましょう。

### ●あらかじめ用意しておく物品●

**使い捨て手袋、マスク、ガウンやエプロン（使い捨てが望ましい）、拭き取る為の布やペーパータオル**  
**ビニール袋、次亜塩素酸ナトリウム、バケツ（処理専用で用意：使いまわさない!!）**

**当社の生き生き防護セットAがお勧めです!!**

カタログ16号掲載 6169-8585 1名分×10袋：処理用チャック付袋入り 定価2,100円（税込）

## ふん便・おう吐物の処理について

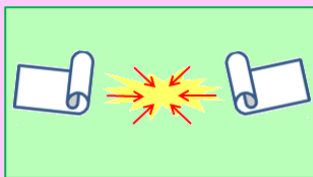
- ①ふん便・おう吐物の処理をする前に、まず処理にあたる人以外の方を遠ざけましょう。  
処理の際に、ノロウイルスを大量に含んだ飛沫（ひまつ）が発生します。感染を防ぐ為、処理にあたる人以外は3m以上遠ざかって下さい。**処理時とその後は、窓を大きく開けるなど、室内に新鮮な空気を入れ、換気を行いましょう。**
- ②処理を行う人は、使い捨ての手袋、マスク、エプロンを着用しましょう。  
眼鏡をしていない場合は、ゴーグル等で目の防御をすることをお勧めします。  
**エプロン等の着衣は、処理後に可能ならば廃棄しましょう。廃棄しない場合は消毒が必要です。**
- ③布やペーパータオルでふん便・おう吐物をしっかりと拭き取りましょう。  
**使用後の布やタオルはすぐにビニール袋に入れ密封し、処分して下さい。**処分の際に、うすめた次亜塩素酸ナトリウムを染み込む程入れ、消毒すると効果的です。
- ④処理の後は、うすめた次亜塩素酸ナトリウムでふん便・おう吐物のあった場所を中心に広めに消毒しましょう。  
処理後は手袋をはずしてしっかりと手洗いをします。48時間は感染の有無に注意して下さい。

### ●おう吐物処理の例●

・汚染場所に関係者以外の方が近づかないようにします。



・処理をする人は使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用します。



・おう吐物は使い捨ての布や、ペーパータオル等で**外側から内側**に向けて、拭き取り面を折り込みながら静かに拭き取ります。

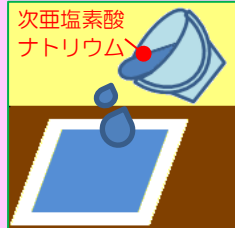
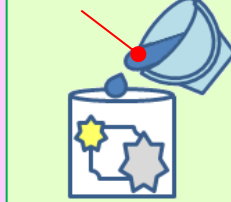
**× 同一面ですらない!!**

同一面ですると汚染を広げてしまうので注意！

・使用した使い捨ての布や、ペーパータオルはすぐにビニール袋に入れ密封し、処分します。

ビニール袋に0.1%次亜塩素酸ナトリウムを染み込む程度に入れ消毒すると効果的です。

次亜塩素酸ナトリウム



・おう吐物が付着していた床とその周囲を、0.1%次亜塩素酸ナトリウムを染み込ませた布やペーパータオルで覆うか、浸すように拭きます。  
**※鉄等の金属は腐食するので、ふき取って10分程たったら水拭きします。**

※次亜塩素酸ナトリウムを使用すると、カーペット等が変色する場合があります。

### ●その他の注意点●

#### <汚物が付いたリネン類の洗濯、消毒>

必ず、使い捨てのビニール手袋とマスク、エプロンを着用し、リネン類を専用のビニール袋などに入れ、周囲を汚染しないよう運びます。  
汚物を十分に落とした後、0.02%次亜塩素酸ナトリウムに30～60分浸すか、85℃で1分以上熱湯消毒を行います。消毒後、他のものと分けて最後に洗濯して下さい。

手袋は、付着したおう吐物が飛び散らないよう、表面を包み込むように裏返してはしません。その後ペーパータオル等と同様に処分します。